

Course number		U-LAS06 20025 SJ42					
Course title (and course title in English)		公共政策論基礎ゼミナール Introductory Seminar on Public Policy I			Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Human and Environmental Studies Professor,SANO WATARU
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Jurisprudence, Politics and Economics(Issues)	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A	Number of credits 2
Number of weekly time blocks		1	Class style		seminar (Face-to-face course)		Year/semesters 2024・Second semester
Days and periods		Mon.5		Target year		All students	Eligible students For all majors
[Overview and purpose of the course]							
<p>具体的な政策課題を多面的に検討し議論することを通して、公共政策の分析とデザインのための理論および現実が発生している公共的な問題をとりあげ、その原因と現状、また現にとられている対策を調べたうえで、改善策を提案する。政府の対策を「外から」批判するのではなく、なぜそのような対策にとどまっているのか、また、なぜ未然に問題の発生を防止することができなかったのか、など、問題の背景や構造的原因にまで視野をひろげて考えられるようになることを目指す。</p>							
[Course objectives]							
<p>プレゼンテーションおよび共同作業の能力を高めるとともに、さまざまな社会問題に対する対策として、どのような公共政策が実施されているのか、また、それらは実際にどの程度役に立っているのか、幅広い知見を得る。</p>							
[Course schedule and contents]							
<p>受講者は、グループまたは個人単位で、具体的な社会問題をとりあげ、その実態を調査するとともに、そのなにか「問題」なのか、また、それに対してこれまでどのような対策がとられてきたのか、さらに、それではなにか不十分であるのかを検討し、報告する。可能であれば、そのような現状が生じている、政治的・経済的・社会的背景にまで考察を深めることが望ましい。</p>							
[Course requirements]							
None							
[Evaluation methods and policy]							
授業への参加状況・参加態度（ 8 0 % ）、報告内容（ 2 0 % ）にもとづき、評価する。							
[Textbooks]							
Not used							
[References, etc.]							
<p>（ References, etc. ） Introduced during class</p>							
[Study outside of class (preparation and review)]							
<p>報告に向けて準備を行うことはもちろん、報告後も、調査が十分ではなかった点、考えが深められていなかった点について反省を行うことが求められる。</p>							
[Other information (office hours, etc.)]							